

差出人：遊 田村

送信日時： 2025年3月4日火曜日 19:33

件名： 「第2期 香川県社会的養育推進計画」についてのパブリックコメント

氏名：社会福祉士相談所 LOVE（代表：田村 遊）

住所：香川県高松市伏石町 1562 番地 伏石ハイツ第1 201号

電話：090-7780-7565

### 意見

○一般の方には、「社会的養育」と、「代替養育」の違いが解り辛いと思う。社会的養育には、家庭への支援も含まれることを強調しても良いと考える。

○P.10の【定性的な事項】の表中、(目指すべき状態)欄で、「アンケートを毎年実施して」とあるが、「現状」欄にも現状のアンケート実施頻度を記載するべき。

○「3. 支援を必要とする妊産婦等の支援に向けた取組」の分量が2ページというのは少ない

と考える。昨今、県内で痛ましい事件が頻発していることを踏まえ、もう少し充実させる必要があると考える。

○「パーマネンシー保障」という用語がとても頻出しているが、ここまで頻出するのであれば、社会的養育や代替養育のように本文中に説明を記した方が解かり易いと考える。

○P.36【定性的な事項】のように、「現状」と「目指すべき状態」が同じであれば、「現在の体制を継続する」等の記載にした方が、理解しやすいと考える。

○P.58 イ 高機能化・多機能化の取組」の、「ケアニーズが高い～専門性向上を図るための～」は、具体性に欠けると考える。具体的にどのようなケアニーズを持ったこどもが増えているのか、どのように職員の専門性向上を図るのかが読み取れない。

○「10. 障害児入所施設における支援」において、ソーシャルワーク（の手法を用いた支援）についての記載が全く無いことは、残念と考える。

○P.62の表「アフターケア事業所の利用者の状況」において、契約者数と相談件数の差が開き過ぎていることが気に掛かる。「契約に至らなかった相談者」への対応はどうなっているのかについても、記載する必要があると考える。

○P.64「施設等を退所した後に困りそうなこと」をこどもたちに調査したのであれば、それらの課題に対してどのように対応（支援）しているのか、或いはしようと考えているのかについても記載する必要があると考える。そうでなければ、「聞くだけ聞いて、放置している。」という印象を持たれかねないと考える。

○児童自立生活援助事業のⅠ型、Ⅱ型、Ⅲ型については、違いを記載しなければ一般の方は解らないと考える。

以上